報告事項エ

令和７年度とっとりのミリョク発見！発信！親子でおしごと体験ツアーの開催結果について

令和７年度とっとりのミリョク発見！発信！親子でおしごと体験ツアーの開催結果について、別紙のとおり報告します。

令和７年９月８日

鳥取県教育委員会教育長　　足　羽　英　樹

報告事項エ

令和７年度とっとりのミリョク発見！発信！親子でおしごと体験ツアーの開催結果について

令和７年９月８日

小 中 学 校 課

「ふるさとキャリア教育」の一環として、小学生とその保護者を対象に、県内の魅力的な企業を訪問・体験することで、働くことの意義ややりがいを知り、将来について考えるきっかけづくりとするバスツアー「とっとりのミリョク発見！発信！親子でおしごと体験ツアー」を開催したので、その結果を報告します。

１　目　的

鳥取県にあるいろいろな仕事を見学したり、体験したりすることで、子どもたち自身が働くことの意味ややりがいを知り、自分の将来について深く考えるきっかけとする。また、見学や体験で得た学びを自由研究やリーフレット等に自分の言葉で表現してまとめ、発信することで、鳥取県内の企業のすばらしい取組や、ふるさと鳥取のよさを実感することができるようにする。

鳥取県内の仕事を知り、楽しみながら社会のしくみを学ぶことができることから、子どもたちの未来を生き抜く力を育む「ふるさとキャリア教育」の一環として行う。

２　日　時

東部コース①：令和７年７月３１日（木）午前９時から午後４時３０分まで
東部コース②：令和７年８月　１日（金）午前９時から午後４時３０分まで
中部コース　：令和７年７月２９日（火）午前９時３０分から午後５時まで
西部コース　：令和７年７月３０日（水）午前９時から午後４時３０分まで

３　参加者

小学校及び義務教育学校４年生～６年生の児童とその保護者　計１１５名（児童６０名　保護者５５名）

・東部コース①：１５組（児童１５名、保護者１５名、合計３０名）
・東部コース②：１３組（児童１５名、保護者１４名、合計２９名）※１５組中２組（４名）が欠席
・中部コース　：１１組（児童１３名、保護者１１名、合計２４名）
・西部コース　：１５組（児童１７名、保護者１５名、合計３２名）

※東部コース①②、西部コースは、参加申込み多数により、厳正な抽選を行った上で参加者を決定

４　内　容

ｺｰｽ	期　日	訪問企業（上：午前　下：午後）	体験・見学内容
東部①	７月３１日（木）	株式会社　吉谷機械製作所	オーダーメイドでつくられる消防自動車の製造工程を見学し、実際の部品を作る体験を行う。
		大江ノ郷自然牧場グループ　有限会社　ひよこカンパニー	料理やスイーツがつくられる様子を見学し、集卵などの仕事の体験を行う。
東部②	８月１日（金）	株式会社　ＬＩＭＮＯ	タブレットの組み立て現場を見学し、モノづくりに関わる体験を行う。
		大江ノ郷自然牧場グループ　有限会社　ひよこカンパニー	料理やスイーツがつくられる様子を見学し、集卵などの仕事の体験を行う。
中部	７月２９日（火）	株式会社　エナテクス	くらしを支える電気工事の仕事や再生可能エネルギーについての見学や体験を行う。
		大山乳業農業協同組合	工場で牛乳やヨーグルトができる様子を見学し、「利き牛乳」体験を行う。
西部	７月３０日（水）	株式会社　さんれいフーズ	カニのおいしさを食卓に届ける加工工程を知るとともに、カニのむき身体験を行う。
		株式会社　サテライトコミュニケーションズネットワーク	テレビで配信される緊急情報や地域情報配信の仕組みや情報発信のコツ等を体験する。

５　成果・今後の取組

・ツアー終了後のアンケートでは、参加児童の９４％がこのツアーを通して「ふるさと鳥取について考えることができた」との肯定的な回答を得ることができた。
・参加した児童や保護者からは、工場・店舗等の見学や仕事体験を通して、「都会だけではなく、小さく人口の少ない県でも魅力のある素敵な会社があることが分かった」「発見がたくさんあって鳥取県の企業に興味を持った」「将来の夢はあまり考えたことがなかったが、未来が楽しみになってきた」という声があった。
・また、それぞれの企業で働く方の就職のきっかけ、仕事への思いや働きがい、ふるさと鳥取への思い等を聞くことで、「自分たちが暮らしている場所は素晴らしい場所であるということが再発見でき、ふるさとをより一層魅力的な場所にしていけるよう子どもたちが県内の企業と関わりを持って将来活躍してくれると嬉しい」などの声もあった。
・参加児童には、ツアーで得た学びを自由研究や新聞、レポート等にまとめ、成果物として提出してもらっている。今後は、この取組について研修会やイベント等の様々な機会を通じて発信することで、ふるさとキャリア教育の取組、鳥取の魅力ある企業やふるさと鳥取の魅力について広く県民に周知を図っていく。

「令和７年度とっとりのミリョク発見！発信！親子でおしごと体験ツアー」の
見学・体験内容と参加者の感想（東部コース①②）

１　日　　時　①令和７年７月３１日（木）　②令和７年８月１日（金）
　　両日とも午前９時から午後４時３０分まで
２　訪問企業　①株式会社吉谷機械製作所、大江ノ郷自然牧場グループ　有限会社ひよこカンパニー
　　②株式会社ＬＩＭＮＯ、大江ノ郷自然牧場グループ　有限会社ひよこカンパニー
３　参加人数　①児童１５名、保護者１５名、合計３０名
　　②児童１５名、保護者１４名、合計２９名
４　見学・体験内容と参加者の様子

【株式会社吉谷機械製作所】

・企業説明を聞いた後、各工場を回って担当者の話を聞きながら吉谷機械製作所の消防車づくりや検査の工程や工夫を見学し、フルオーダーメイドに対応する大変さや技術の高さを感じていた。
・実際の消防車に装備される部品を親子で作る体験をとおして、ものづくりの面白さを体感していた。
・「自分の好きなこと」を生したいと県外から就職した従業員の方の話から、自分の得意なことや好きなことを生かしていくことの大切さにも気づいていた。

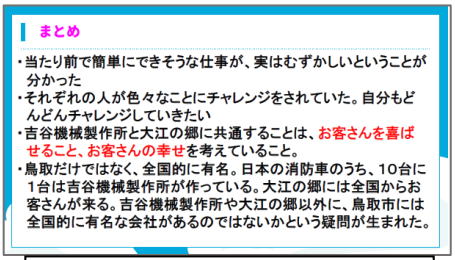
【株式会社ＬＩＭＮＯ】

・企業説明を聞いた後、カラオケ用リモコンタブレットを顧客のニーズに合わせて作るにはどのような工夫をすればいいか話し合う過程や、製品のタブレットに実際に鉄球を落としてその耐久性を確かめる実験、グループごとで協力して分解体験を行う過程をとおして、安全で安心な製品を製造する工夫や、企業の持つ技術の素晴らしさに関心をもつ様子がうかがえた。
・工場で実際にどのようにタブレットが製造されているかを見学し、製品を作るのにたくさんの人が関わり、その工程には様々な工夫がなされていることに気づいていた。
・県外から就職し、工場での仕事とバトミントンを両立させている従業員の方のお話を聞き、趣味と仕事の両立についても考えることができた。

【大江ノ郷自然牧場グループ　有限会社ひよこカンパニー】

・起業にあたっての思いや、健康でおいしい卵づくりのために大切にしていること、会社が大切にしている３つの笑顔（客・地域・スタッフ）についてのお話を聞いた。
・作業着に着替えて集卵体験を行い、卵やそれを産む鶏たちを大切に扱う方の思いに触れた。プリン液注入体験では、専用の道具を実際に使って親子で体験し、パティシエのプロの技術のすばらしさを体感していた。
・パティシエ、ホールスタッフ、事務職員の方からそれぞれ仕事に対する思いを聞き、１つの仕事には様々な人が関わっていることや、自分のやりたいことを突き詰めていく大切さにも気づいていた。

５　参加した児童の感想（一部抜粋）



参加児童の学びの成果物（一部）

・私は将来の夢とかあんまり考えたことがなかったけど、こんなに楽しそうな仕事を知ってちょっと未来が楽しみになってきました。
・都会だけではなく小さく人口が少ない県でも魅力のある素敵な会社があることが分かりました。これからも鳥取から鳥取の魅力を発信してください。

６　参加した保護者の感想（一部抜粋）

・キャリア形成において大変参考になるお話でした。生き生きとされている表情も印象的でした。
・鳥取にも全国に向けて頑張っている企業があることを知って、他にもどんな仕事が鳥取にあるか興味を持ってくれたらと思いました。働いている人の話を自分なりに理解して、帰ってから思ったことを話してくれました。参加してよかったと思います。

「令和７年度とっとりのミリョク発見！発信！親子でおしごと体験ツアー」の
見学・体験内容と参加者の感想（中部コース）

１　日　　時　令和７年７月２９日（火）午前９時３０分から午後５時まで
２　訪問企業　株式会社エナテクス、大山乳業農業協同組合
３　参加人数　児童１３名、保護者１１名、合計２４名
４　見学・体験内容と参加者の様子

【株式会社エナテクス】

・風力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギーを利用した発電や送電の仕組みなどについて見聞きし、生活を支える「電気のお仕事」について関心をもつ様子がうかがえた。
・太陽光パネル下の農業利用や社員の発案による新たな取組などを見学・体験し、意欲的な挑戦を続ける企業の魅力を感じていた。
・電気工事の作業をされる方の就職に関わるお話を聞いたり、高所作業車体験をしたりし、仕事の大変さと同時に、特技を生かして仕事に取り組む「かっこよさ」や面白さにも気づいていた。

【大山乳業農業協同組合】

・工場で様々な種類の牛乳やヨーグルトが作られる様子を見学した後、白バラ牛乳のおいしさの秘密や、大山乳業で働く人やその仕事の内容について詳しい説明を聞いた。
・参加者は、いつも家や給食で飲んでいる牛乳がどのように作られているか、どんな工夫で安全においしく届けられているのかを興味深く見聞きした。
・官能検査を模した「利き牛乳」体験では、３種類の製造方法の異なる牛乳の飲み比べを行い、その違いを色や匂い、味等で感じ取り、親子で相談しながら判断していた。

５　参加した児童の感想（一部抜粋）

・太陽光発電の下でドクダミを育てていることや、風車の先端が時速２５０㎞だということ、羊をつかって草を刈っていることなどが分かりました。環境に優しいことをされていて良いなと思いました。普段行けない所に行って楽しかったです。中部地区のお仕事が未来につながっていることが分かりました。

・高所作業車がすごかったです。高いから怖かったけど、いつも頑張っておしごとをしてくれているお兄さんたちが付いてくれていたので心強かったです。いろいろすごかったし、ＳＤＧｓについても考えなきゃと思いました。
・家の近くなのに、初めて知ることが沢山あって楽しかったです。
・いろんな牛乳を作るための部屋があることが分かりました。紙パックは元々つながっていることがビックリしました。

６　参加した保護者の感想（一部抜粋）

・子どもには世の中にどんな仕事があるのか色々知って、興味のあることを見つけて欲しいなと思っているので、その１つとしてとてもいい機会になりました。
・鳥取県の素晴らしさの再確認。優良企業の従業員の方の意識の高さが感じられました。
・ＳＤＧｓを考えた取組など、いろいろな取組を行っていることを初めて知りました。企業名だけではわからないことを知り、地元でも魅力ある会社があるのだと思いました。意見を取り入れてくれる会社はやりがいがあり、仲間意識もできてくるのかなと思いました。実際に見て体験することは大切だなと感じました。

令和7 年 8月 20日　発行者 熊田 唯織

すごい！太陽光発電

まわりにあるすごい仕事

大山乳業

参加児童の学びの成果物

「令和７年度とっとりのミリョク発見！発信！親子でおしごと体験ツアー」の
見学・体験内容と参加者の感想（西部コース）

１　日　　時　令和７年７月３０日（水）午前９時から午後４時３０分まで
２　訪問企業　株式会社さんれいフーズ、
　　株式会社サテライトコミュニケーションズネットワーク（ＳＣＮ）
３　参加人数　児童１７名、保護者１５名、合計３２名
４　見学・体験内容と参加者の様子

【株式会社さんれいフーズ】
・カニの水揚げや加工について、ビデオでの説明や会場と加工工場内部をオンラインでつないでリアルタイムでやり取りしながらの見学をとおして、細かな注文に応える工夫やおいしく安全に届ける工夫を学んだ。
・カニのむき身体験と試食で、その大変さや面白さ、プロの技のすごさを感じるとともに、鳥取の誇る食のすばらしさを実感していた。
・鳥取のよさにひかれて県外から就職した工場長のお話を聞き、鳥取が持つ豊かな魅力に気づいていた。

【株式会社サテライトコミュニケーションズネットワーク】
・映像センターでは、鳥取から発信された実際の速報が全国各地のケーブルテレビに配信されている様子から、暮らしを守る情報発信の大切さにも気づくことができた。
・鳥取のよさを発信する情報発信画面を作る体験では、グループになった参加者同士が話し合いながら鳥取県のよさや魅力を考えることをとおして、相手意識をもった発信や仲間と協力して一つのものを創り上げる良さなどを実感していた。
・３つの部署の説明を聞き、一つの会社の中にも様々な仕事があり、それぞれのやりたいことや特技を生かして仕事をしていることに気づいていた。

５　参加した児童の感想（一部抜粋）
・私の住んでいる鳥取県にもいろいろな仕事があって、たくさんの人が関わっていることを知りました。自分の住んでいる鳥取県についてもっと知りたいと思ったし、今までよりさらに好きになりました。
・見るだけでなく、体験で楽しく分かりやすかったです。カニをとってから加工するまでの過程を見て、とても衛生面を大切にしていること、多くの過程を手作業しているということを知りました。
・たくさんのテレビ局で放送されている情報を人が見て管理しているのを知りました。大切な情報をたくさんの人にわかりやすい形で届けていて、とても社会のためになっているすごい会社だと思いました。

６　参加した保護者の感想（一部抜粋）
・２社とも鳥取県発の企業とは知らず、今後機会があれば他にも見学してみたいと思いました。子ども達にも都会一極集中の傾向の中、今回のような機会を通じて地元で働くという選択肢に繋がっていければと感じます。
・関東に住んでいましたが、今回のツアーで鳥取県には自然や人の良さなど、都会にはない素晴らしいところがたくさんあることを発見でき、子どもにふるさと鳥取を大好きになってくれる良いきっかけになったと思います。

参加児童の学びの成果物（一部）